

ふじがわ

1 月号 昭和61年1月5日発行 No. 294

町のメモ

昭和61年1月1日現在	
人口	16,955人
増減	-12人
男	8,358人
女	8,597人
世帯数	4,395世帯
面積	31.09km ²

富士川町 総務課



今年も元気に
ガンバルぞ！

(岩淵保育園児)

町のこし
「健康な心とからだ
で住みよい町に」

おもな内容

- 2～3ページ 町長・議長年頭のあいさつ
- 4～5 12月定例会(町長の一般行政報告)、町のこしの目標決まる
- 6～7 広報ディスカッション
- 8～9 ママさんの記者が取材中「町キウイフルーツ協会」
- 10 戸籍の窓・一里塚

富士川町民憲章

1. わたくしたちは、富士川町民としての自覚をもって郷土のためにつくしましょう。
1. わたくしたちは、心身をきたえ、仕事にはげんで豊かな町にいたしましょう。
1. わたくしたちは、教養を高め、情操を深めて明るい家庭をきずきましょう。
1. わたくしたちは、奉仕につとめ、力をあわせて住みよい社会をつくりましょう。
1. わたくしたちは、創造と努力によって町の未来をひらきましょう。



創意工夫を重ね 町の発展を

町議会議長 佐野 喜平



町民の皆様、明けましておめでとうございます。皆様には、日頃町議会に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚く感謝いたしております。

お陰を持ちまして昨年は近代的な中央公民館が完成し、これを契機として、本年は町の教育文化活動の活性化や充実が大いに図られることと思っております。また、秋には県企業局による中野団地分譲も開始されるなど、一段と多事の年となることと思っております。

最近のわが国の経済情勢は、景気によりやく歯止めが配が見えてきたというものの、なお足踏みの状態にあります。国の財政も歳入の相当分を公債発行

に依存せざるをえないという状態にあり、行政改革や財政再建問題は緊急かつ最重要課題となつているところであります。

このような局面にあつて、昨年町は発展への基礎固めを着実に推進してきました。本年は限られた財政を有効に活用するため、複雑多様化する施策の厳しい選択を行い、歳出の効率化、合理化等を徹底して行つていくことが大切なことであると思つております。

私ども議決機関といたしましては、耳ざわりのよい安易な慰めや迎合でなくありのままの現実と問題を素直に示し、町民生活の安定向上を図るため、今後更に創意工夫を重ね、皆様方のご期待にそつよう、皆様と共に考え実行していく所存であります。今後共、なお一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健康とご繁栄を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

二十一世紀を展望する 町づくり 心を新たに して全力で

富士川町長 常葉 雅文

昭和61年の輝かしい新春を迎え、謹んで心からお慶びを申し上げます。

日本経済は、円高の影響に悩まされながらも民間活力の活用による内需拡大への模索を続け、教育臨調・行財政改革への対応・国会議員定数問題・高度情報化社会への対応等国政レベルでの諸問題が山積しております。

当町をとりまく環境も非常に厳しいものがありますが、昨年は「緑と清流のある町」を基本理念とした第一次総合計画の仕上げの年として基幹事業である文化の殿堂「中央公民館」が完成・オープンし、集る・学ぶ・ふれあう場所として町民のみならず積極的に利用をいただきました。

さて、心新たに新年を迎え、二十一世紀を展望すべき町づくりに、町民のみならず共に英知を出しあつて着実に施策の遂行に努力をしていく覚悟であります。

現在、昭和61年度の予算編成作業を進めておりますが、県の動向を十分見極めながら財政の健全化を基本姿勢とし、「内面充実の十年間」を基調に、「任みよい町」「働きがいのある町」「誇りをもてる町」をテーマとしての「二万人都市富士川・緑と碧と光の町づくり」を旨として「昭和70年を目標とした第二次総合計画の初年度として計画的に主要事業の推進と、町民のみならずのニーズに対処できる諸事業を適確に把握し、施策に反映していく所存であります。

本年は、明治34年町制施行・昭和32年町村合併以来、町制八十五周年、並びに合併三十年の記念すべき年にあたりますので、先達の築いてきた歩みを振り返りかえり、将来へ向けての展望にたち、各種事業を「イベント

富士川」として展開をしていきたいとおもいます。麗峰富士を仰ぎ、駿河湾に注ぐ富士川・松の緑と周辺の眺望や景観との調和の中でホール・多目的室・研修室等で町民のみならずが活発に活動する——中央公民館。

——自然と健康増進に野田山健康緑地公園へ老若男女が歩を運ぶ。——新幹線富士駅設置に伴う広域総合交通体系の整備促進。

——富士川身延線バイパスの建設促進・富士川橋周辺の交通渋滞解消対策。

——県企業局による中野台地での宅地分譲開始等あすのわが富士川町の展望に明るいものがあります。

年頭にあたり、健康で明るいご家族のご多幸をお祈り申し上げると共に、私は自らに課した厳しい課題に向つて全力を尽くす決意を新たにいたしました。

国勢調査の結果(町集計) 町の総人口は二万六千七百二十八人

昨年10月1日午前零時現在で実施された国勢調査の町の集計結果がまとまりました。この調査の結果、町の総人口は、前回(昭和55年)の調査より九人減の二万六千七百二十八人でした。今月号では、集計結果のあらましをみなさんにお知らせします。

なお、この集計結果は、町段階の集計のため、後日、総務庁統計局から正式に発表される数字と異なる場合があります。

産業別就業人口

産業別	人口(人)		産業別	人口(人)	
	男	女		男	女
第一次産業	583	267	電気・ガス・水道業	41	9
農 業	316	119	運輸・通信業	395	65
林 業	4	1	卸・小売業	330	641
漁 業	3	0	金融・保険業	1,478	837
計	590	268	金融・保険業	641	837
第二次産業	0	0	金融・保険業	177	109
鉱 業	0	0	金融・保険業	68	109
建設業	726	84	不動産業	22	10
製造業	642	84	サービス業	1,212	671
計	2,300	1,143	サービス業	541	671
	4,169		公 務	185	
	2,942	1,227	公 務	137	48
			計	3,510	
				1,761	1,749

大字別の世帯数及び男女別人口

大字	人口(人)		世帯数
	男性(人)	女性(人)	
北松野	1,641	1,641	822
南松野	1,328	1,352	681
木 島	328	379	154
岩 渕	1,541	1,640	863
中之郷	3,315	3,444	1,884
かぎあな	58	61	26
合計	8,211	8,517	4,430

※かぎあな地区は、大字では中之郷、一地区となつております。

通勤者の従業地・通学者の通学地先人口(十五歳以上)

市町村	通勤者		通学者	
	人	人	人	人
町	4,359	148	148	
内町	893	134	134	
原比川	73	0	0	
由芝	46	0	0	
富士宮	1,700	260	260	
清水	278	135	135	
静岡	348	106	106	
沼津	226	147	147	
三島	208	61	61	
その他(県外含む)	32	37	37	
合計	8,269	1,053	1,053	

12月定例会

総務・農林水産・土木費などに

五千九百五十一万七千円を補正

予算現額は三十六億五千三百五十八万円に

町議会の12月定例会が、12月23日(月)午前9時から開会され、常葉雅文町長の一般行政報告を皮切りに、昭和60年度富士川町一般・土地取得特別・国民健康保険特別・水道事業会計補正予算、富士川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について、富士川町職員の一部を改正する条例について、富士川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、富士川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について、町基本構想策定についてなど町長提出議案十三件、富士川町議

会広報編集委員および正副委員長選任についてを審議し、すべて原案どおり可決しました。今回の一般会計補正予算は、総務費・農林水産費・土木費などを中心として、五千九百五十二万七千円を補正、これに要する経費は、地方交付税や国、県支出金などを充当し、予算総額は三十六億五千二百五十八万円となりました。なお、一般行政報告、一般会計補正予算などの内容は次のとおりです。

町長の一般行政報告

常葉町長は一般行政報告に入る前に「本年を振り返りかえってみると、当町をとりまく環境も非常に厳しいものがありましたが、合理的・効率的の行政運営に資する『行政改革大綱』を策定し、また、緑と清流のある町を基本理念とした第一次総合計画の仕上げの年として、計画的な事業執行をしてきました。基幹事業としての文化の殿堂『中央公民館』が完成・オープンし、町民のみならず積極的に活用をいただき、図書室の利用を含め、11月は七千九百四十三人が同館をそれぞれの目的で利用しました。昭和60年度も、あますところ3ヵ月となりましたが、投資的・事業的執行は順調に進捗しており、公共上町小山線道路改良工事・緊急地方道路整備事業『富士川由比線工事』・岩淵保育園移転改築工事等工期内完成をめざして工事は順調に進んでいきます。現在、昭和61年度予算編成作業に入っていますが、予算編成にあたっては、多種多様に变化する町民の行

政需要に対応すべく、行財政の合理的・効果的運用に努力し、財政の健全化を基本姿勢とし、第二次総合計画の初年度として計画的に諸事業を推進していく所存です」と61年度に向けての方針を語りました。◎県企業局の住宅団地造成工事について 来年秋の分譲開始に向けて造成工事は着々と進んでいます。新しい町づくりに向けて団地名の検討をしていきましたが、「中野台」ということで事務的作業を進めていきたいと思います

現在、登記所との協議を重ねていますが、今後、地域住民の承諾を得て、3月議会で審議をお願いします。

粗大ゴミ収集結果について

各家庭に放置されておりましたテレビ・洗濯機・冷蔵庫について去る8月20日から10月23日までの間、九回にわたり収集を実施、六百七十八台の機器を収集処理しました。家庭内の環境美化・環境保全の確保の要望にそいたいと思います。

静岡の自然一〇〇選について

朝日新聞社・静岡県・県民テレビ・森林文化協会が、県内に残る豊かな自然をかがえのいない財産として二十一世紀に生きる子どもたちに引き継ぐことを目的として県内二百五十三カ所の候補地から一般募集をし、「静岡の一〇〇選地」として決定されます。

当町の「野田山保健休養林」も小・中学校児童生徒・PTA・法人等のみならず、町外の人たちからもその景観・眺望を認識され、四万二千三百六十二票、二十四位の上位入選となりました。

自然とのふれあい、健康増進の場として大いに県内外の方々に利用されることを期待しています。◎国勢調査の概要について 総人口一万六千七百二十八人で、

内訳は男八千二百一十一人、女八千五百一十七人、世帯数四千四百三十で、一世帯当たり、三・七七人となり、昭和55年に比べより核家族化の傾向にあります。

交通安全について

交通安全協会富士川分会を中心として、ドライバーを対象とした交通安全教室の開催・毎月10日のシートベルト・ヘルメットの着用街頭指導・交通安全運動中の夜間パトロール・交通安全施設の点検整備など事故撲滅に向けて積極的な活動を展開していただき、また、幼・小・中学校においては交通安全教育研究推進の地域指定を受け、安全に対する意識の高揚、行動の成果が着実にあらわれてきていると思います。12月10日から年末年始の交通安全運動期間中でもありますので、当町から事故を無くすようよろしく願います。

ことしの目標について

「笑顔であいさつ明るい町に」は昭和56年から本年まで五年間実践してきました。町のことしの目標実行委員会での反省・検討を過日いたしました。深く町民に浸透し成果が現われてきたとの判断で、昭和61年から新たな目標を設定することにしました。各種団体からの提案・広く町民のみならず募集を行っており、来る12月25日に実行委員会にお

いて標語の選定をすることになっていきます。新たな目標の実践を新年から行っていきたいと思いますのでご理解、ご協力をお願いします。

一般会計の補正予算

- 総務費へ 一千八百四十九万三千元
オフセット印刷機
民生費へ 一千六百六十八万二千元
岩淵保育園移転改築建設工事(外構工事)
農林水産費へ 一千七百八十五万円
農免農道岩淵事業舗装工事
農免農道富士川浦原事業負担金
商工費へ 百七十八万六千元
商工会館補修工事補助金
土木費へ 一千八百九十四万四千元
沢上県道拡幅工事
沢上線歩道設置工事
沢上県道側溝改良工事
防災ファクシミリ購入費
二百二十七万三千元

町議会広報編集委員会

- 委員長 佐野 喜平
副委員長 渡辺 浩章
委員 小永井一雄 望月 好効
坪内 伸浩 法月 寿作

本多晴子さんの標語

「健康な心とからだで 住みよい町に」が 町のことしの目標に

昨年12月25日、町当局、議会、各種団体代表者が出席し、「町のことしの目標」実行委員会が開かれ、昭和61年の目標は、本多晴子さん(上町)から寄せられた「健康な心とからだに住みよい町に」に決まりました。

昭和61年の目標は、みなさんから寄せられた五十一件の作品と各種団体から寄せられた三十六点の作品の中から、慎重に討議された結果選定されました。

今後同委員会では、目標実践のためチラシを作成し各世帯に配布するなどして、町内全域にくまなく目標を浸透させていくことになりました。また、昨年同様、各区でも実践できる目標を決めて推進していくことになりました。

青少年健全育成標語

優秀作品三十点決まる!

町教育委員会では、昨年11月に行われた青少年健全育成強調月間の一環として、第一・二中学校全生徒(八百八十四人)を対象に、青少年健全育成標語募集を行いました。

その結果、三十点が優秀作品に選ばれ、今後青少年活動の中で活用されることになりました。そこで、広報ふじかわでは、優秀作品に選ばれた標語を学年別に発表していきます。

- 喜びは自分の気持ちに勝った時 (一中一年A組 加藤愛己)
○気をつけよう あなたの心が変わる時

(一中一年A組 谷津倉美知)
○見えぬ糸負けるな心を強く持つ

(一中一年B組 清 哲也)
○さわわれても行かないやらない意志を持つ

(一中一年C組 遠藤滋彦)
○いつの日も中学生らしい身だしなみ

(一中一年D組 中島恵子)
○常識も一歩はずせば落とし穴

(二中一年A組 押川浩教)
○善と悪どちらにするか自分の判断

(二中一年A組 松浦奈美)
○気のゆるみ非行のはじまり気をつけよう

(二中一年B組 小林義明)
○つみとろう心にはびこる非行の芽

(二中一年B組 蓮池重男)
○ふりむく君を呼んでる恵のささやき

(二中一年C組 白井恵里)

佐野さんが農業センサスの功績により 農林大臣表彰を受賞



佐野正豊さん (南町)の農林水産省で「一九八五年農業センサス功績者農林水産大臣表彰

式」が行われ、長年農業センサス調査員として活躍された当町の佐野正豊さんが、農林水産大臣表彰を受賞されました。

農業センサスは、農業の国勢調査ともいわれ、わが国の農林行政施策の基礎資料としてかかすことのできない大切な調査といわれています。佐野さんは、戦後まもなくからこの調査にたずさわり、指導的立場を發揮された功績により、このたび大臣表彰を受賞されました。



目標をもって全力で

相生町 一小五年 浦田美幸さん
 今年は、小学校の最後の年になるので、思い出の多い年にしたいと思います。

今年は私の年です。とら年生まれということもあってか、とても負けずぐらいです。

私は、日曜日以外は毎日スイミングスクールに通っています。苦しい練習をやってきました。いい記録がなかなかでない時は、とてもくやしです。でも負けるものかという記録を出すように練習しています。

今年、最上級生になるので下級生からたよりにされるお姉さんになりたいです。

秋に行われる郡の陸上記録会では、去年は八百円で三位だったので、今年はいっしょうけんめい練習して、優勝をめざしたいと思います。ちょっとむりかな？

修学旅行も楽しみの一つです。東京タワーに登ったり、上野動物園、国会議事堂の見学、かまくらの大仏も見られるかな？ みんなでいっしょの所でね起きできることもうれしいです。

ステキな一九八六年

宮町 浦田晴代さん(23)
 “年女”なんていわれると、この一年、何か重要なことをまかされたような責任感を感じますね。ちょっと大げさかな……今年、ぜひはりきりたいのは、“仕事”ですね。でも“二十四歳”という、結婚してすっかりおちついている人も多いと思います。私には、そのスマートなコースに進む気になれないんです。自分の選んだ仕事で、自分のびのび試してみたいですね。

本当に好きなんです。ね、こ

今年もまた、右手には包丁やフライパンを持つよりも、筆やペンを持つ時間の方が熱心になるのは確かだと思えます。

とにかく元気に生活できるのが一番！ プライベートな面でもちよつぱりステキな事件があつてもいいな。

しょう来は音楽家？

新町本町 一小五年 佐野尚美さん
 一九八六年とら年。

草原のとらがえきに向かってとつ進するように、私もしょう来の目標に向かってとつ進したいと思ひます。

年の初めにいろいろ目標をたてるのですが、大部分は達成できないで一年が終つてしまいます。今年が六年生になり、残

練習をしないとだめです。音楽の学校へ行き、大人になつたらエレキトーン教室を開いて音楽の好きな子どもたちに教えることが私の夢です。

歳で、二周目で二十四歳、三周目で三十六歳になり、ちょうどお父さんと同じ年になる。いろいろとかわつてい

2月号のテーマ 私の夢

子どもの頃や学生の頃は、夜の空を飾る星々に魅了され、まるで星と星の間を散策している気分が落ち入って、星空を眺めたものでした。真赤な太陽が遠くの山に沈んでいく姿を最後まで見つめては、センチメンタルな気分になった。

結婚して子どもが生まれ、仕事を続けている現実、大変忙しい毎日です。あこがれや空想としての夢は、もう過去のこととなつてしまいました。私は今、

「夢を描くこと」、それは、次代を担う子どもたちの健全な成長にとって大切なことだと思います。

久保田しのぶさん (33) (小山)

家族の健康と 明るく家庭づくり

大北町 佐野 昇さん(36)
 今年は三回目の年男である。

“今年こそは”と思いつつ新年を迎えた。あつという間の昨年は仕事と子育ての悪戦苦闘であつた。それでも、今年、本も読もう、二十代の時に受けた感動を三十代で追体験してみようと思う。きつとすばらしい再発見があるにちがいない。写真もやりたい。日に刻々開発され変化する郷土を写しておきたいし、四季のうつりかわりを美しく残しておこう。また、子どもたちの成長も記録しておこうと思う。仕事の方では、大きな節となるだろうこの年を全力傾倒してみたい。

なにもぶんに現実の毎日は仕事の忙しさに追われ、夜遅くやつと帰宅すると、宵張りの二人の息子(三歳と0歳)が待つてましたとばかりまわりつき、相手をしながら食事片手ですまし、それから家の中で運動会、やつと風呂にいったと思うともう十一時といった具合である。

とても趣味・道楽などほど遠いのが現実で、自分の時間などトイレの中でさえあまりない(長男がかならず入つてくる)のである。

職業について早や十余年、経験も身につつき、充実した安定ある仕事ぶりが発揮できるよう、家族の健康と明るい家庭づくりが大事なことでしよう。

一生けんめい がんばるぞ

小山 一小五年 斎藤隆正くん
 ぼくの家庭では、お父さん、お母さんと、ぼくの三人がとら年生まれです。

ぼくにはえとなどぜんぜんわかりませんが、お母さんから「隆正、今年が年男だからがんばらなくちゃね」といわれてみて、そうか今年が年男か、学校でも最上級生になるんだな。

生まれた時から一周目が十二

お父さんやお母さんに「おそいね」といわれます。自分でも直そうと思つてはいるんだけど直りません。自分でもわかるような気がします。夜しつかりしたくをしないからだと思います。自分でも、少しはわかつてはいるんだから直るんじゃないかなと思ふんだけど不思議です。

六年生が下級生の見本になる

2月号のテーマ 「私の夢」

お月様の中に、もちつきをするウサギさんの姿を子どもといつしよに探したり「おてんと様が沈む時顔中真赤に染るのはね、明日の朝まで忘れられないねと、みんなの心に焼きつけているからよ」といった会話をしたつた子育てをしたと思ひます。

忙しさに負けないで、子どもたちにロマンを与える子育てをする心のゆとりを持ちつづけたと思ひます。

◎字数 四百字づつ原稿用紙一枚以内

◎締切日 1月18日(出まで)

◎投稿先・問合せ 富士川町役場総務課 岩淵以番地

◎注意事項 匿名者の原稿は掲載しませんが、必ず住所・氏名・年齢を記入して、締切日までに投稿してください。



六年生としての誓い

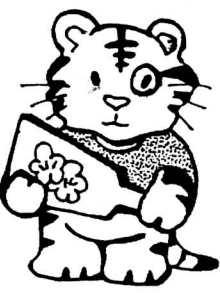
四十九町 一小五年 藪崎美奈さん
 私にとって今年が、小学校生活が最後となりますので、希望を持った楽しい一年をおくりたいと思います。

そして、私の希望は、何んでも最後までやりとおすこと

す。私はいつもちゆうとはんばで、お母さんに「崇美、なんでも最後までやんなさい」といわれると、とてもくやしです。

それなのに、なぜ私はいつまでたつても直らないのか、自分でもわかりませんが、がんばつて直すこと。もう一つは、行動が少しのろいので、もう少し早くしたいのです。それは、朝いつ

のように、六年生になつたら絶対にこの希望を持つて楽しい一年をおくりたいので、がんばりたいと思います。



ママさん記者が取材中



富士川町
キウイフルーツ協会

肌をさすような冷たい風に、今冬一番の寒さを感じた12月12日(木)、私たち広報モニターは、「富士川町キウイフルーツ協会」の会長望月一郎さん(上町)、販売担当副会長芦川芳光さん(木島)、生産担当副会長浦田博恵さん(堺町)を役場にお招きし、会の生い立ちや活動状況などについてお話を伺いました。

この協会の発足は、低迷の続くミカン栽培の転換作物としてキウイ栽培に注目し、昭和49年ニュージーランドから日本キウイ協会を通して約二百本の苗を輸入したのがきっかけだそうで、

す。当時この栽培をやってみて、かかった人はかなりいたようですが、雲をつかむ状態でしたので、結局八人で栽培を始めました。現在は順調な伸びをしめし会員も五十六人に増え、ますます活発な活動をされています。この会の運営は、会員の年会費、町からの助成金、農協からの補助金などでまかなわれています。

ポストスターを作成するなどして、ピーアール活動に力を入れてくれています。キウイは栄養価が高く、特にビタミンCはレモンより多く含まれ、食べ方もサラダやカレーの中に入れて、硬い肉に混ぜると肉がやわらかくなるなど耳よりなお話しも伺うことができました。



モニター(右から二人目)のインタビューに答える望月さん・芦川さん・浦田さん(写真左側から)

正月である。寒さがとくにごきびしいこの冬であるが、どんなにきびしい寒さの中であつても正月はいいものだ。除夜の鐘を聴きながら、行く年、来る年に様々な想いをめぐらすだけでも大きな意味があるというものだ。まして正月元旦は誰にとつても、すべての社会にとつても、想いの違いはあるのが感慨あるものといえるであろう。

「何か正月」というのが流行の昨今であるが、それもよし。価値の多様化の時代である。しかし、一年の計を練ると同時に父の在り方を考え、母の姿を思い、家族とは一体何かを考える絶好の機会でもあるのが正月ではないだろうか。

家でオヤジが元日の朝、夜明け近くの井戸からバケツに若水を汲んでくる。身を切るような冷たい風の中、膝までくる雪を踏みしめながら運ぶのである。外気が冷たいので汲みだての水は暖かさを感じるのである。それが、幼い頃のわが家の元旦の習慣であつたし、元日の朝の食膳にも、多分オヤ

生活が教育する時代に、なつかしさが甦りやるとも意味のある正月を過ごすことができたことにありがたさを感じている。

▼社会教育あれこれ▲

若水

ジが祖父から受け継いだであろうわが家の風習があつた。

家族そろつて新年のあいさつをする。お屠蘇をいただく。雑煮を食べ、お年玉をもらう。何だかひどく形式的に見るかもしれないが、それが家風であり、大切な教育の場であつたのだ。

改めて言葉で説明の要のないごく自然な形で行なわれていたのである。長い一年の始まりの日にあつて、両親の姿を見ながらのこうした習慣は子どもにとって大変貴重なものであつたと確信している。

「何とか正月」というのが流行の昨今であるが、それもよし。価値の多様化の時代である。しかし、一年の計を練ると同時に父の在り方を考え、母の姿を思い、家族とは一体何かを考える絶好の機会でもあるのが正月ではないだろうか。

今から七百六十年位前のこと。当時、都の西華門院の蔵人職にあつた松野六郎左衛門行易は、承久の乱後の都の混乱や低迷する政局に、つくづくと嫌気がさしたのでしよう。

生活が教育する時代に、なつかしさが甦りやるとも意味のある正月を過ごすことができたことにありがたさを感じている。

まちの昔ばなし伝説(五) 蔵人屋敷

今から七百六十年位前のこと。当時、都の西華門院の蔵人職にあつた松野六郎左衛門行易は、承久の乱後の都の混乱や低迷する政局に、つくづくと嫌気がさしたのでしよう。

領地であつた松野村にきて居館を構えました。

行易の居館は、現在の南松野の法蓮寺で、一町四方あつたといわれ、行易の役職からこの館を蔵人屋敷と呼ばれました。

行易は非常に人格の高い人で、村人たちはすべてを慕つたそうです。

また、行易は、信仰の篤い人で、たびたび実相寺(現在の富士市岩本にあり、当時この周辺では最も大寺であつた)に参詣して、仏教の勉強に励みました。

この頃、法華宗(現在の日蓮宗)を開いた日蓮上人は、身延に入山しておりました。

以前から日蓮上人に帰依していた上野郷の地頭、南条七郎の夫人が行易の長女であつた。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

蔵人屋敷については、居館主の松野六郎左衛門に関する資料は乏しく、すべて宗教関係を主としたものであり、なお調査研究の域を出ていません。郷土の歴史解明のためにも後学が期待されています。

家族で話し合おう 図解交通安全

追ってくる大型車の後輪 (内輪差を知ろう)

①交差点の角に立って、信号が変わるのを待っていました。そこへ大型トラックがやってきて左折し始めます。前輪が目の前を通ったとき、ぼくと車の間にはまだ余裕がありました。

交差点では、歩行者はもとより自転車、二輪車を運転している人も内輪差に注意し、大型車のそばに近づきすぎると巻き込まれることのないようにしてください。

②ところが、そのあと車体がぼくの方に寄ってきて後輪にひかれてしまいそうになり、思わず飛びのきました。

新年を迎え、お酒を飲む機会が多くなると、お酒をすすめな

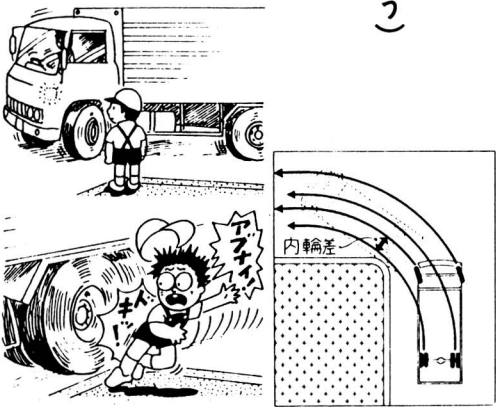
左折時の事故原因には、内輪差によるものが目立ちます。内輪差とは、車が曲がる時、後輪が前輪の通った場所よりも内側を通ることをいいます。これは車の構造上どんな車でも起こり、特に大型車はその差が大きくなり、事故の原因にもなります。

お酒をすすめな、飲ませないよう努め、飲酒運転による交通事故を撲滅しましょう。

12月の交通事故

人身事故	7件(4)	合計	17件(8)
物損事故	10件(4)		
富士川身延線	6件(1)		
国道一号线	4件(5)		
町道	5件(1)		
県道	2件(1)		
その他	0件(0)		

()は昨年



戸籍の窓

S 60・11・15〜12・14届出分

(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者続柄
小山	常盤真彦	勝彦 長男
相生町	鈴木千晶	秀樹 長女
坂下	齋藤有希	晴彦 長女
堺町	岩本美帆子	雅則 二女
川坂	渡邊光一郎	光章 長男
宮町	田澤貴之	一哲 長男
〃	門西克弥	正文 二男

区名	氏名	年齢
本通三	小永井奈緒	辰男 二女
幸町	大沼真之	昭之 長男
〃	松田怜央	祐輔 長男
東町一	地花陵二	孝春 長男
南町一	武下昌民	州衛 二男
八幡町	天野大地	芳文 長男
〃	吉田萌生	勉 長男
富士松野	岡 秀和	和則 長男
清水町	久保田有佳	公敏 長女

かなしみ

区名	氏名	年齢
旭島	芦川 喜一	五〇
〃	市川 市郎	七六
新町	古木村右衛門	八二
〃	渡邊たかの	八四
新町本町	磯部 好一	八二
宮町	松下啓次郎	七四
大楽窪	井出 和子	五三
本通三	木内 隆博	五六
〃	山本 秀二	八二
東町一	吉川 貞子	六八
東町二	山崎 時代	五八
南町二	佐野 磯吉	八八
富士見町	佐野 秋光	八〇
清水町	吉田まつよ	七八
〃	天野 定雄	五四

お母さんの知恵袋

紅茶をおいしくいれる方法
みなさんのお宅では紅茶をおいしく飲んでいますか。

最近では手軽なティーパックの出現で、缶入りなどの葉が敬遠されがちです。茶こしに葉を入れて、熱湯を注ぐだけでは独特の味と香りは出せないそうです。紅茶も日本茶のように手でもんで作られているので、専用のポットか急須に十分沸騰したお湯を入れ、約三分位「蒸らす」ことが大切。そして、ステンレスか銀製の茶こしを使って注ぐ。

ちよつと変わったインド風の飲み方を紹介すると、やかに人数分の水と紅茶の葉を入れ、たつぷりのミルクと好みの砂糖を加え、さらに古根ショウガを二、三度たたいてひとかけら加え、火にかけて沸騰する寸前におろし、茶こしを使って注ぎ分けます。ショウガの香りが一層紅茶を引き立てます。

冬の夜のだんらんの一時、温かい紅茶を飲みながら、家族で新年を迎え、いろいろなできごとを話し合ってみませんか。

(婦人会)

一里塚



昨年12月、年末恒例となった国民の夢「ジャンボ宝くじ」が全国一斉に発売されました。皆あの大きな一等賞金に魅せられ、当選の夢を心にいだき買い求めたことでしょう。私もその中の一人です。

この一等賞金は七千万円で、日本国中で百名以上の人が一日にして高額な賞金を手に入れた大金持ちとなります。

人間のめぐりあわせというのは恐ろしいもので、それは、一日にして普段手にするのできない何千万円ともいわれる高額な賞金を獲得する人もいれば、年末には、従業員に給与も支払えぬままに倒産していった企業もあり、悲観にくれ新年を迎えた人も多いと思うのです。

12月、各地方自治体などが中心となり歳末たすけあい運動がみなさんの協力で行われました。幸と不幸は一瞬にしてだれでも体験することだと思えますので、このような運動にはみなさんと共

おわび

(W・M)

12月号「戸籍の窓」欄で、新町の齋藤雅也さんを昌也さんと誤記し掲載しました。深くおわびし訂正させていただきます。



文協俳句部辛夷俳句会 (法月幸子選)

八幡町 西森千鶴江
吾子のご盲犬抱く霜夜かな
大北町 川崎 麻子
柿吊し縁さに古ぶ石の白
東町二 望月 喜子
紅葉山の色の極みに黙しけり
南町一 望月美奈子
漁火のぼつんぼつんと凍む波間
富士見町 錦織 好江
炎えて尚炎えてとどまる紅葉かな
富士見町 清水 淑子
舟山町 植松かつ子
密柑剪る富士の傘雲崩れそめ
堺町 伊東す江の
木守柿黒き枝に照り土蔵裏
上町 斎藤つね子
一片の雲の自在やからす瓜
清水町 白井滋賀子
セーターの背ナを丸出し押相撲
八幡町 鈴木りつ子
散策の肩に背に散る紅葉かな